

製品安全データシート

製造者情報

会社	ファインケミカルジャパン株式会社
住所	東京都江東区福住一丁目15番3号
担当部門	技術開発部
担当者	敷島 保男
電話番号	03-3643-8877
FAX番号	03-3643-8890
	作成 1994年2月8日
	改定 2002年9月10日

整理番号 SPRS - 3

製品名 スパッターリリース NET . 180ml

製品の特定

単一製品・混合物の区別 混合物
主成分： グラファイト微粉末、アクリル樹脂
主溶剤： イソパラフィン系炭化水素溶剤
噴射剤： 液化石油ガス

- * P R T R法には該当しない。
- * 労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則には該当しない。

製品説明

種類： スパッター用離型剤
主な用途： 溶接用スパッターの付着防止

危険有害性の分類

分類の名称： 可燃性ガス、引火性液体

危険性：

- 高圧ガスが入っている。加熱、衝撃等により破裂する危険性がある。
- 燃えやすいガスが入っている。ガスが滞留すると爆発の恐れがある。
- 非常に引火しやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

有害性：

- 吸収すると軽い麻酔作用がある。

応急措置

目に入った場合： 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄する。まぶたの裏まで完全に洗うこと。できるだけ早く医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合： 付着物を布で素早く拭き取る。多量の水及び石けんまたは皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーなどは使用しないこと。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

吸入した場合： 蒸気、ガスを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けさせること。蒸気ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合： 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。嘔吐物は飲み込ませないこと。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

火災時の措置

消火方法：

- 適切な保護具（耐熱性着衣など）を着用する。
- 可燃性のものを周囲から素早く取り除く。
- 指定の消火剤を使用すること。
- 消火活動は風上から行う。
- 容器は高温で破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を十分にとること。

消火剤： 粉末、二酸化炭素

漏洩時の措置

- 作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 付近の火気を止める。
- 付近の着火源、高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- 河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- 換気の良い場所で取扱う。
- 静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。
- 炎や火気の近くで使用しない。
- 火気を使用している室内で大量に使用しない。
- 火の中に入れてない。

保管：

- 日光の直射を避ける。
- 風通しの良いところに保管する。
- 火気、熱源から遠ざけて保管する。
- 40 以上のところで保管しないこと。
- 水回りや湿度の高いところに保管すると、容器腐食して破裂の恐れがあるので保管場所に注意すること。

暴露防止措置

管理濃度： 設定されていない

設備対策：

- 取扱い設備は防爆型を使用する。
- 排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- 取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とする。
- 使用中は火気厳禁の措置をする。
- 洗顔施設を設置する。

保護具：

目の保護

取扱いには保護眼鏡を着用すること。

皮膚の保護

有機溶剤が浸透しない手袋を着用する。

呼吸系の保護

- 有機ガス用防毒マスクを着用する。
- 密閉された場所では送気マスクを着用する。
- スプレー作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。

物理 / 化学的性質

外観等：	黒色液
臭気：	溶剤臭あり
沸点：	1 5 8 （原液）
蒸気圧：	0.37 MPa 、 25 （製品）
密度(比重)：	0.84、20 （原液）
pH値：	該当せず
その他：	特になし

危険性情報（安定性・反応性）

引火点：	34 （原液）
発火点：	3 0 0 以上
爆発限界：	データなし
燃焼性・反応性等：	熱、火炎、酸化剤にさらすと爆発の危険性がある。

有害性情報

皮膚腐食性	:	皮膚の乾燥、脱脂効果があるため皮膚炎を起こすことがある。
刺激性(皮膚、眼)	:	皮膚； 刺激作用がある 眼； 刺激性が有り結膜炎を生じることが有る。
感作性	:	データなし
亜急性毒性	:	データなし
慢性毒性	:	データなし
がん原性	:	データなし
変異原性(微生物、染色体異常)	:	データなし
生殖毒性	:	データなし
催奇形性	:	データなし
その他	:	なし

環境影響情報

漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。

廃棄上の注意

- 廃棄は噴射音がしなくなるまでガスを抜いたのち行うこと。

輸送上の注意

共通：	<ul style="list-style-type: none"> • 取扱い及び保管上の注意事項に従うこと。 • 運搬に際しては容器からの漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。 • 運搬に際しては、容器を40以下に保ち、転倒、落下、損傷がないように注意すること。
陸上輸送：	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
海上輸送：	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送：	現在のエアゾール製品は、航空法で輸送できないものになっており、注意すること。

主な適用法令

労働安全衛生法	危険物： 引火性のもの、可燃性ガス
高压ガス取締法	適用除外項目対象： 液化ガス、可燃性ガス
消防法	危険物 第4類第2石油類
船舶安全法	危険物(高压ガス)

記載内容の取扱い

すべての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等にご利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、一般的な取扱いを対象としていますので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いいたします。